

第11号

本小の教育「授業研修会」

3年算数

○授業スタンダード期 「授業の型づくり期」

今回は、一学期の初任研最後の授業となりました。単元名が、「わり算」しかも「余りのあるわり算」の学習である。子供達がいかに苦手意識の高そうな単元に挑みました。指導計画で本時は、「2時間/7時間」であり、単元に入ったばかりである。今回は、「学級目標」も完成・掲示し、更に前時の学習内容も「ヒント掲示」として準備されてました。どうしても厳しい子が2~3人いる。その子供達を、どう奮い立たせ、手当をし、どう伸ばして行くかが、永遠の課題（教員全員の）のような気がする。取り敢えず、お疲れ様でした♥

■ 3年2組（算数）「花城 順子」先生 3校時目 実施



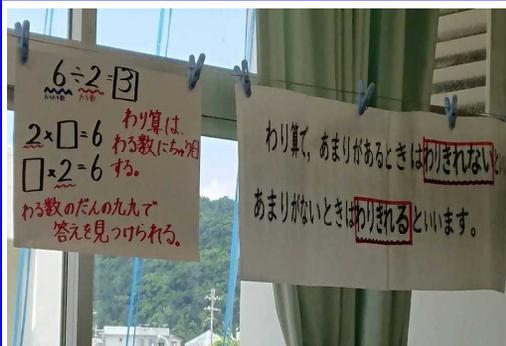
【児童の手(学習規律)】



【教室の色(支持的風土)】



【教師の眼(教師の姿勢)】



●「黙想」「授業始めの挨拶」、学習用具の準備、机上の整理整頓などが良く出来ている。「学習規律は、Good!」です。

●「参観」されると子供達は、張り切り頑張る。ただ、発表の仕方、学習の進め方、約束ルール、などは必要である。

●「班会議」後ホワイトボードへの記入が残念であった。(見づらい)折角の発表なのでTV画像など活用しても良かった。

【上図】「小集団」を作ったまま、黒板での一斉指導を聴く姿。工夫が必要。

【中図】「奥の子が起立して発表」クラスの全員、その子に向き直って、聴く姿勢が出来ていた。素晴らしい!!

【下図】「新学習指導要領・算数」より算数・数学の学習過程のイメージ図を載せておきます。教材研究にも必要。

●前回、教師の姿勢で一番改めて欲しいと注文を付けた場面です。「子供が黙想」の時、担任も黙想に正対していました。「Good!」

●授業後、指導教員の古謝先生、教頭先生から多くの指導助言をいただきました。本日、学んだことを、直ぐ明日からの授業改善に生かして欲しいと思います。

●一歩一歩、確実な足取りで前進する順子先生を今後も皆で支え、見守って行こう!

【感想】 「(全職員が)指導案は貰っている」との想定で「雑感」を述べたいと思います。ヨロシク!

- 「算数科・学習指導」の進め方は、素晴らしい。個人で、グループで、全体で、そして個に戻す。
- 「教材観」「児童観」「指導観」は、3点セット。レディネスを実施し、基づいての「指導観」も良い
- 「本時の展開」など流れも良い。前時までの学習。前時と本時の違いはどこか。子供達も理解・・・
- 「言語活動」が残念だ! 数学には、数学の「専門用語」がある。その言語を用いて説明が出来ない。
- 「算数的活動」として、「具体物」を活用して欲しい。例えば本時ならば、「アメを13個」準備する。
- 「振返」までいった。[練問]へ行ってしまった。[振返]で、本時の目標を達成できたはず・・・残念・・・



校長より

